

会員へのお知らせ

日本産科婦人科学会会員 各位

日本産科婦人科学会周産期委員会において、「妊娠中の体重増加指導の目安」につき、令和3年3月8日開催の第4回理事会に報告し承認を得ましたので、会員の皆様にお知らせいたします。

妊娠中の体重増加指導の目安について

日本産科婦人科学会、周産期委員会において1997年に決定し1999年に公表された「妊娠中毒症の栄養管理指針」¹⁾に記載された「妊娠中の適切な体重増加の推奨」について、体重増加の推奨値が妊娠による生理的な体重増加値を下回っている可能性が危惧されること、さらに同指針による妊娠高血圧症候群の予防効果を支持する新たなエビデンスが乏しいことから、歴史的な役割を終えたと判断し2019年に推奨を取り下げることに決定しました²⁾。以後、周産期委員会では妊婦の体重管理を行う目的についてアンケート調査を行い、全国616の分娩管理施設から得られた回答ならびに、2015年～2017年の日本産科婦人科学会の周産期データベースならびに、所定の条件を満たした単胎妊婦419,114人についての後方視的解析から、以下に記載します妊娠中の体重増加の目安を策定しました。

妊婦管理に大きな影響を及ぼす目安となることが予想されますので、わが国妊婦の栄養指導に関わる会員の皆様に周知させて頂きたく存じます。

参考文献

- 1) 中林正雄. 妊娠中毒症の栄養管理指針. 日本産科婦人科学会雑誌 1999; 51: N507—N510
- 2) 金山尚裕. 1997年日本産科婦人科学会周産期委員会による「妊娠中毒症の栄養管理指針」(1)の推奨の停止について. 日本産科婦人科学会雑誌 2019; 71: 1248

妊娠中の体重増加指導の目安*

妊娠前体格**	BMI kg/m ²	体重増加量指導の目安
低体重	<18.5	12～15kg
普通体重	18.5≤～<25	10～13kg
肥満(1度)	25≤～<30	7～10kg
肥満(2度以上)	30≤	個別対応(上限5kgまでが目安)

*「増加量を厳格に指導する根拠は必ずしも十分ではないと認識し、個人差を考慮したゆるやかな指導を心がける」産婦人科診療ガイドライン産科編2020 CQ010より

** 体格分類は日本肥満学会の肥満度分類に準じた。

令和3年6月1日

公益社団法人日本産科婦人科学会
理事長 木村 正
周産期委員会委員長 池田 智明